



## 2022年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ミルボン

上場取引所 東

コード番号 4919 URL <http://www.milbon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 龍二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 村井 正浩

TEL 03-3517-3915

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

2022年8月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	21,467		3,824		4,137	23.3	2,875	19.1
2021年12月期第2四半期	19,558	23.3	3,659	53.2	3,355	59.5	2,413	66.3

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 3,883百万円 (35.0%) 2021年12月期第2四半期 2,875百万円 (458.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	88.42	
2021年12月期第2四半期	74.24	

(注) 当期中首より従来営業外費用としていた売上割引を売上高から控除しております。そのため、売上高及び営業利益の前年同期増減比較において誤認を与える可能性がありますと判断し、売上高及び営業利益の対前年同四半期増減率については記載しておりません。(経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は変更ありません。)なお、前期数値を当期と同様の方法で算定した場合、当第2四半期の売上高は11.7%増、営業利益は15.3%増となります。詳細については決算説明資料をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	51,361	43,114	83.9
2021年12月期	48,238	40,197	83.3

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 43,114百万円 2021年12月期 40,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		30.00		38.00	68.00
2022年12月期		40.00			
2022年12月期(予想)				46.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,900		7,550		7,410	3.5	5,230	2.4	160.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当期中首より従来営業外費用としていた売上割引を売上高から控除しております。そのため、売上高及び営業利益の前年同期増減比較において誤認を与える可能性がありますと判断し、売上高及び営業利益の対前期増減率については記載しておりません。(経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益は変更ありません。)なお、前期数値を当期と同様の方法で算定した場合、売上高は7.5%増、営業利益は6.6%増となります。詳細については決算説明資料をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) Milbon Europe GmbH 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	33,117,234 株	2021年12月期	33,117,234 株
期末自己株式数	2022年12月期2Q	591,417 株	2021年12月期	606,080 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	32,517,278 株	2021年12月期2Q	32,506,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものの、経済活動の正常化が進む中で個人消費を中心に緩やかな回復傾向を示しました。先行きについては、原材料価格やエネルギー価格の高騰、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化などリスクが多く不透明な状況が続く見通しです。

国内市場におきましては、地方都市において感染拡大が人流に影響した第1四半期と比較して回復が見られ、デザインカラーを楽しむ顧客層が増えたことも影響し染毛剤が大きく伸長しました。またヘアカラーによるダメージケアや、デザインをより長くきれいに楽しみたい意識向上からヘアケア用剤も堅調に推移しております。

海外市場におきましては、中国が引き続きゼロコロナ政策によるロックダウンの影響を受け、厳しい状態ではあるものの、影響は最小限にとどめ健闘しております。その他主要国である米国、韓国については、ヘアケア用剤、染毛剤ともに極めて順調で、連結売上伸長に貢献しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は214億67百万円、営業利益は38億24百万円、経常利益は41億37百万円（前年同期比23.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億75百万円（同19.1%増）となりました。

(注) 当期期首より従来営業外費用としていた売上割引を売上高から控除しております。そのため、売上高及び営業利益の前年同期増減比較において誤認を与える可能性があるかと判断し、売上高及び営業利益の対前年同四半期増減率については記載をしております。（経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は変更ありません。）なお、前期数値を当期と同様の方法で算定した場合、当第2四半期の売上高は11.7%増、営業利益は15.3%増となります。詳細については決算説明資料をご覧ください。

部門別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

(連結部門別売上高)

(単位：百万円)

部門	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
ヘアケア用剤	11,288	57.7	12,218	56.9	—	—
染毛剤	7,124	36.4	8,148	38.0	—	—
パーマントウェーブ用剤	740	3.8	751	3.5	—	—
化粧品	293	1.5	262	1.2	—	—
その他	111	0.6	87	0.4	—	—
合計	19,558	100.0	21,467	100.0	—	—

(国内海外別売上高)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
国内売上高	15,742	80.5	16,627	77.5	—	—
海外売上高	3,816	19.5	4,839	22.5	—	—
合計	19,558	100.0	21,467	100.0	—	—

(注) 当期期首より従来営業外費用としていた売上割引を売上高から控除しております。そのため前年同期増減比較において誤認を与える可能性があるかと判断し、増減額及び増減率については記載をしております。前期数値を当期と同様の方法で算定した場合の詳細については決算説明資料をご覧ください。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して31億22百万円増加の513億61百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して21億34百万円増加の270億35百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が8億44百万円減少し、商品及び製品が19億69百万円、原材料及び貯蔵品が5億81百万円、受取手形及び売掛金が3億6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して9億87百万円増加の243億25百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比較して1億80百万円増加の74億90百万円となりました。主な変動要因は、未払金が4億61百万円減少、買掛金が7億19百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して25百万円増加の7億56百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して29億17百万円増加の431億14百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が18億30百万円、円安による為替換算調整勘定が11億48百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の83.3%から83.9%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の1,236円41銭から1,325円54銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて8億47百万円減少し、124億65百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は12億1百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益41億38百万円の計上、減価償却費10億14百万円、棚卸資産の増加額22億2百万円、売上債権の増加額2億61百万円、法人税等の支払額13億4百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は13億22百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億11百万円、無形固定資産の取得による支出3億93百万円と差入保証金の差入による支出1億48百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は12億34百万円となりました。これは主に株主さまへの配当金支払額12億33百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想（2022年2月10日発表）からの変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響に関しましては不確実性が高いため、収束時期の遅れなど今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要性が生じた場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,350,147	12,505,229
受取手形及び売掛金	4,673,258	4,979,735
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	4,537,613	6,506,960
仕掛品	41,842	60,391
原材料及び貯蔵品	1,360,902	1,942,289
その他	740,268	843,069
貸倒引当金	△3,271	△2,009
流動資産合計	24,900,761	27,035,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,957,598	9,161,610
機械装置及び運搬具(純額)	2,840,613	2,942,362
土地	4,995,014	5,009,029
建設仮勘定	269,654	332,572
その他(純額)	753,381	857,140
有形固定資産合計	17,816,262	18,302,715
無形固定資産	1,516,714	1,680,387
投資その他の資産		
投資有価証券	1,610,607	1,524,149
長期貸付金	32,527	3,692
退職給付に係る資産	438,540	440,321
繰延税金資産	577,944	800,810
その他	1,393,519	1,619,605
貸倒引当金	△48,387	△46,087
投資その他の資産合計	4,004,752	4,342,491
固定資産合計	23,337,729	24,325,594
資産合計	48,238,490	51,361,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	936,108	1,655,393
未払金	3,495,694	3,033,966
未払法人税等	1,401,441	1,490,788
賞与引当金	511,612	508,509
その他	965,353	802,031
流動負債合計	7,310,210	7,490,688
固定負債		
退職給付に係る負債	7,753	8,697
繰延税金負債	595	670
資産除去債務	608,139	613,281
その他	114,611	133,590
固定負債合計	731,099	756,239
負債合計	8,041,309	8,246,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	246,299	274,537
利益剰余金	38,834,669	40,665,030
自己株式	△2,080,393	△2,030,365
株主資本合計	39,000,575	40,909,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,262	40,328
繰延ヘッジ損益	68,821	—
為替換算調整勘定	850,537	1,999,478
退職給付に係る調整累計額	176,984	165,322
その他の包括利益累計額合計	1,196,605	2,205,129
純資産合計	40,197,181	43,114,332
負債純資産合計	48,238,490	51,361,260

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,558,798	21,467,252
売上原価	6,650,862	7,198,250
売上総利益	12,907,935	14,269,001
販売費及び一般管理費	9,248,793	10,444,920
営業利益	3,659,142	3,824,080
営業外収益		
受取利息	12,871	10,452
受取配当金	16,944	7,543
為替差益	38,501	257,286
社宅負担金	1,193	1,520
保険解約差益	5,499	18,068
補助金収入	32,019	28,687
その他	26,787	56,559
営業外収益合計	133,816	380,118
営業外費用		
売上割引	341,758	—
持分法による投資損失	94,542	64,517
その他	1,356	2,122
営業外費用合計	437,657	66,640
経常利益	3,355,300	4,137,558
特別利益		
固定資産売却益	—	923
投資有価証券売却益	19,087	448
特別利益合計	19,087	1,372
特別損失		
固定資産除却損	355	604
特別損失合計	355	604
税金等調整前四半期純利益	3,374,032	4,138,326
法人税、住民税及び事業税	1,125,498	1,418,446
法人税等調整額	△164,663	△155,275
法人税等合計	960,835	1,263,171
四半期純利益	2,413,196	2,875,154
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,413,196	2,875,154



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,413,196	2,875,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,378	△59,934
繰延ヘッジ損益	106,841	△68,821
為替換算調整勘定	336,325	1,148,941
退職給付に係る調整額	8,180	△11,661
その他の包括利益合計	462,726	1,008,524
四半期包括利益	2,875,923	3,883,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,875,923	3,883,679
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,374,032	4,138,326
減価償却費	856,853	1,014,981
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,519	△3,995
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,453	△9,376
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12,805	△18,584
受取利息及び受取配当金	△29,815	△17,995
持分法による投資損益(△は益)	94,542	64,517
支払利息	—	△198
為替差損益(△は益)	△20,161	△60,592
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,586	△448
固定資産売却損益(△は益)	—	△923
固定資産除却損	355	604
売上債権の増減額(△は増加)	△163,281	△261,967
棚卸資産の増減額(△は増加)	△704,825	△2,202,624
仕入債務の増減額(△は減少)	515,897	595,929
その他	△333,458	△749,068
小計	3,608,293	2,488,583
利息及び配当金の受取額	30,963	17,426
法人税等の支払額	△1,049,930	△1,304,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,589,327	1,201,680
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,635,322	△811,174
有形固定資産の売却による収入	—	977
無形固定資産の取得による支出	△305,389	△393,579
貸付けによる支出	△148,000	—
貸付金の回収による収入	963	1,755
投資有価証券の取得による支出	△12,150	△12,681
投資有価証券の売却による収入	11,621	546
差入保証金の差入による支出	△24,380	△148,947
差入保証金の回収による収入	21,716	43,258
その他	4,052	△3,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,086,889	△1,322,990
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の純増減額(△は増加)	△1,130	△696
配当金の支払額	△935,679	△1,233,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936,810	△1,234,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	202,553	508,609
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△231,819	△847,379
現金及び現金同等物の期首残高	12,307,591	13,312,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,075,771	12,465,255

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、新たに設立したMilbon Europe GmbHを連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社は、商品の評価方法については、先入先出法に基づく原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法に基づく原価法に変更しております。この評価方法の変更は、海外商品仕入の増加等を契機に、仕入価格の変動の影響を平準化することで、より適正な期間損益の計算を実現することを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは化粧品の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。